

努力することを習慣に！

茗溪塾塾長 長谷誠基

WBC(ワールドベースボールクラシック)での日本の活躍がまだ記憶に新しいところです。特に日本チームの投手陣の安定感と序盤はチャンスに凡退していた打線も準決勝・決勝とここぞというときに1本が出たように、勝負強さが目立ちました。あんなに注目されている中で結果を残すというのは精神的にも非常に大変なことだと思います。緊張の中で自分の実力を出すというのは、入試でもかなり難しいことで、本来持っている力の半分も出せないということもあります。代表選手たちは普段からの準備でも、コツコツと努力を積み重ね、やるだけやってきたという自信がないといけないのだと思います。受験生たちへもこのことを伝えていく必要があると改めて思いました。

塾では春期講習が終わり、学校が新学期を迎えています。春期講習ではその日学習をテーマにし、やり直し勉強の重要性を学びました。やり直しノートなどを使って、間違えた問題をもう一度解きなおしたり、単語や漢字を覚えたり、知らなかった用語をまとめたりしながら自分がどこが出来なかったのかを確認し、次に出てきたときに間違えないようにしていきます。これが定着すれば今後の勉強に向けて大きな一歩が刻めます。この学習法が身についた生徒は必ず成績も伸びていきます。勉強や学習のやり方が身につくには一定の努力が必要です。春期講習中は宿題として出され、時間も取れましたので続けていけましたが、今後はそうはいきません。忙しいスケジュールの中で、短い時間でもいいからやり直しの時間を作り継続させていきましょう。

先ほどの WBC でも話題になった大谷翔平選手は、あるインタビューの中で自分にはどんな才能があるか？と聞かれたとき、『努力する才能』と答えたそうです。確かに160km/時以上のボールを投げ、多彩な変化球も操り、打者でもホームラン争いをするような選手なので天賦の才もあるでしょうがそれ以上にそれを実現するための努力を欠かさなかったことが持っていた才能を開花させ、さらに今以上の高みを目指していけるようになってきたのだと思います。そして高校時代に書いた目標達成シート(合同特訓でも取り組んだことがあります)をやり遂げ自分の夢を実現させているのです。

この新学期、皆さんの目標は何でしょうか？大谷選手とまではいかないまでも、努力次第で様々な目標が達成可能です。まずは大きな目標を定め、それを達成するために何をすればいいか？を考え少しずつ努力を積み重ねていきましょう。まずは勉強を習慣にすること。次にやり直しの習慣をつけること。この2つだけで、今後の学習がかなり楽になります。新学期『努力することを習慣に！』しましょう。